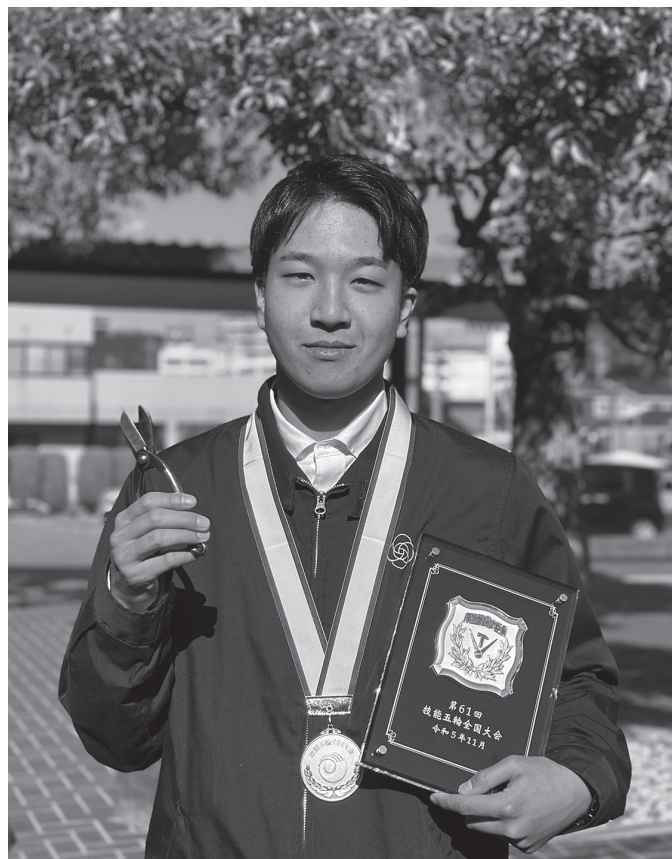




第21回 まつだ むつき 松田 睦輝 さん

技能五輪全国大会
フラワー装飾部門金メダル



花の魅力 自分だけの表現で

昨年11月に開催された第61回技能五輪全国大会のフラワー装飾部門で見事金賞を受賞した四日町出身の松田さん。技能五輪全国大会とは、国内の青少年(23歳以下)が技術を競う大会で、フラワー装飾部門は計6時間の中で基礎技術や独創性、表現力を競います。

松田さんが花に興味を持ったのは高校時代。先輩が同大会に出場していたことに影響され、松田さんの挑戦は始まりました。この競技では、4つの課題のうち2つがサプライズ

発表されるため、高い対応力と経験が求められます。松田さんは、都内の生花会社に勤めながら、業務終了から日付が変わるまで練習を重ねてきました。そして昨年、4度目の正直で金賞を受賞。「他の選手とは違う自分だけの表現が高評価に繋がりました。結果を残すことができたと感じています」と大切なハサミと輝く金メダルを見せてくれました。松田さんの普段の仕事は、葬儀場の祭壇を花で装飾すること。「悲しみで心が沈む場面でも、人に『きれい』と感じさせてしまう花には大きな力があります」と花の魅力について話してくれました。

今年9月には、日本代表としてフランスで開催される世界大会に出場する松田さん。世界大会では、世界と日本での花の価値観の相違が自身の課題であると分析しています。「世界のデザインを学ぶ良いチャンス。この貴重な機会に多くの経験をしたいです」と力強いまなざしは海の向こうへ向けられています。

松田さんにとって伊豆の国市は、心安らぐふるさとで、いつか自分の店を開くことを夢見るまち。世界を経験した松田さんが、きれいな花でふるさとを彩る日が楽しみですね。

かんたん手話講座 ④7 避難所

両手を握って交互に素早く腕を振り(走る様子)、右手5指を曲げて指を下に向けて軽く下ろす。



障がい福祉課
☎ 0558-76-8007 FAX 0558-76-8029

聞こえにくい人、聞こえない人は、災害時のお知らせも避難所においての放送も全くわからないという不便さがあります。そのためにも、常日頃の近所付き合いとコミュニケーションが大事ですね。

アノのあのお

CIR(国際交流員)の都市交流奮闘記



第6回
国際女性デー

皆さん、サエんバエノー!伊豆の冬は暖かく、厳しい寒さを感じないうちに2月が終わってしまいました。伊豆の国市にはほとんど雪が降らないので、少し寂しかったのですが、いよいよ桜の綺麗な季節が訪れると思うととてもうれしいです。

さて、今月皆さんにお伝えしたいのは1975年に国連が定めた3月8日の「国際女性の日」(International Women's Day)です。「国際女性の日」は、数ある国際デーの中でも最もよく知られているものの一つです。世界では女性のエンパワーメントやジェンダー平等の社会実現に向けたパネルディスカッション、朝食会、イベントやデモ行進など

の活動が数多く行われています。欧米では、春の象徴であるミモザの花を、男性が女性に贈る風習もあり、男女共同参画社会に対する考え方や価値観、そしてお祝いする形は国ごとに異なります。

モンゴルでは、この日を国民の祝日としており、男性たちが身近な女性たちに感謝と敬意を込めてプレゼントをあげたり、料理を作ったり、何かサプライズをして喜ばせたりします。

日本でも近年この日の意識が高くなっています。それは、世界経済フォーラムの「ジェンダーギャップ指数」レポートの効果かもしれません。世界経済フォーラムが経済、教育、保健、政治の分野ごとに計算して国々のランキン

グを算出しています。

その結果である「ジェンダーギャップ指数2023」において日本は主要先進国最下位の146カ国中125位、モンゴルは80位という結果でした。日本は先進国の中でも多数のランキングで模範的な国ですが、ジェンダー平等が足を引っ張っているといえるでしょう。世界的に見ても圧倒的に低い日本の女性役員や議員の比率など、まだまだ課題は解決していない状況です。しかし、日本政府も長期計画を立てながら女性が活躍できる環境を整えるために取り組んでいるのがわかります。岸田内閣の目玉政策である「新しい資本主義」の中核として、女性の経済的自立を位置付け、政府一体で取り組みを進めているそうです。

この日を盛大にお祝いすることは、世界中の全ての女性たちが尽くしてきた努力と、多様性が尊重される社会に対し、改めて敬意と感謝を示すこととなります。女性だけでなく全ての人が、幸せな未来を手にするための社会



▲親族の男性たちからのプレゼントで、昨年3月8日はビューティサロンで1日過ごしました。(母、叔母たち、従妹、義理の妹たちと)

づくりに向けてこの日をお祝いしたいと思います。それでは、バイタルタエ。

協働まちづくり課
☎ 055(948)1412